

# としよだより

志布志市立松山小学校  
令和2年度 11月号

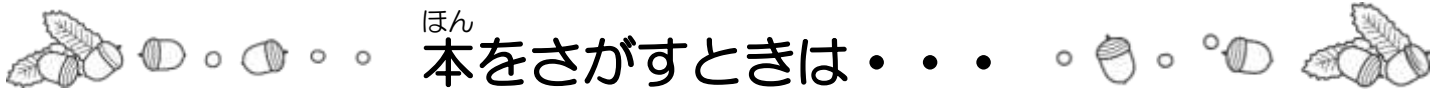


うら  
裏も  
みてね!



『校内読書月間』は、「先生方のおすすめの本の紹介・読み聞かせ」、「読書郵便」、「ハロウィンのしおりづくり」などたくさんありました。心に残る本 = “宝本” (トレジャーブック) との出会いがありましたか？

だんだん寒くなり、夜が長くなる季節です。あたたかい部屋でゆっくり読書をしてみましょう。いつでも図書室に来てくださいね。お待ちしております！



## 本をさがすときは・・・

本をさがすとき、みなさんはどのようにさがしていますか？本には『分類』というものがあり、松山小の図書室では0～9の分類で本が分けられています。また、本のシリーズ名や種類ごとに『見出し』がついています。この『見出し』を見れば、本の場所がわかります！本をさがすときはぜひ『見出し』をチェックしてくださいね。



『自由研究』、『動物』、『かいけつゾロリ』など、本はシリーズ名や種類ごとに分けられています。さがすときは『見出し』を見よう！

絵本は、本の名前の最初の文字であいうえお順に並んでいるよ。

さがしても、本が見つからないときがあると思います。  
そんなときは、いつでも聞いてくださいね。一緒に探しましょう！





こうないどくしょげっかん ようす  
校内読書月間の様子



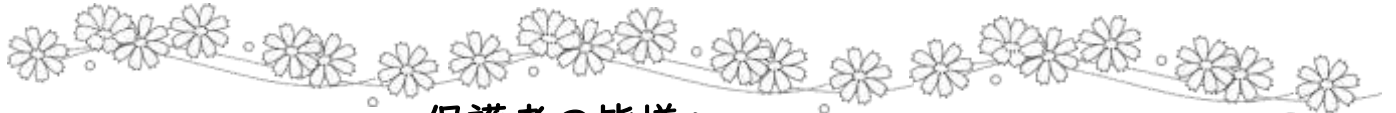
どくしょゆうびん  
◆読書郵便◆

はがきにおすすめの<sup>ほん か</sup>本を書いて、<sup>しょうかい あ とりくみ</sup>紹介し合う取組です。<sup>ともだち せんせい おく あ</sup>友達や先生に送り合っている  
<sup>すがた み</sup>姿が見られました。<sup>じどう</sup>はがきをもらった児童はとてもうれしそうでした♪



せんせいがた よ き  
◆先生方による読み聞かせ◆

11月14日<sup>がつ か ど</sup>（土）の朝<sup>あさ</sup>の時間<sup>じかん</sup>に、先生方<sup>せんせいがた</sup>がそれぞれの教室<sup>きょうしつ</sup>で読み聞かせ<sup>よ き</sup>をしてください  
ました。とても楽しい朝<sup>あさ</sup>のひとときになったことでしょう♪



～保護者の皆様へ～

松山小図書室では、『図書の本は図書バッグに入れる』というきまりがあります。本が汚れたり破れたりするのを防ぐためです。

ときどき、図書バッグを忘れている児童もいるようです。今一度、ご家庭でも確認をお願いいたします。



図書バッグは、布製などの丈夫なものが良いです！  
(本が重いため、薄手のものだと破れることも・・・)

# えほん ていがくねん よ 絵本は低学年の読みもの？

「絵本は小さい子が読むものだ」とおもっていませんか？確かに、絵本は児童書（物語）に比べて絵が多く、文字は少ないので小さいうちから読めます。

でも、“絵本”と呼ばれるものの中には、小学校高学年、中高生、大人にこそ読んでほしいものがたくさんあります。今回は、松山小図書館にあるおすすめのお絵本をご紹介します！学年は関係なく、ぜひみなさんに読んでほしいです。



## 【ストライプ たいへん！しまもようになっちゃった】

作・絵：デヴィッド・シャノン

カミラは“リマ豆”が大好きです。でも絶対に食べようとはしません。なぜなら、学校のみんが“リマ豆”をきらいだから…。周りにどう思われているか気にしてばかりのカミラ。そんなある日、突然体がしまもようになってしまう。どうやったら元に戻れるのでしょうか？

## 【ころべばいいのに】

作・絵：ヨシタケシンスケ

わたしにはきれいな人がいる。それも何人もいる。あの人たちはどうしてイヤなことをしてくるのだろう・・・。

だれにだってきれいな人、苦手なものがあります。イヤな気持ちって、自分ではどうしようもないどしゃぶりの雨のようなもの。そんなときの対処の仕方がのっている本です。大人にもおすすめ！



## 【世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ】

作・絵：ヨシタケシンスケ

ウルグアイの大統領・ムヒカさんは、給料のほとんどを貧しい人のために寄付し、花や野菜を育てて暮らしています。そんなムヒカさんは、2012年の国際会議（地球の環境について話し合う会議）で行ったスピーチで、一躍有名になりました。世界一貧しい大統領と呼ばれるムヒカさんは、どんなことを話したのでしょうか？

## 【ペツエツティーノ じぶんをみつけたぶぶんひんのはなし】

作：レオ・レオニ

自分のことを、何のとりえもない小さな部分品だと思っていたペツエツティーノ。自分<sup>じぶん</sup>はだれの部分品<sup>ぶぶんひん</sup>なのかを確かめるために、友だち<sup>とも</sup>を訪ね、とうとう海<sup>うみ</sup>をわたることに…。カラフルな絵<sup>え</sup>がなんとも素敵<sup>すてき</sup>な一冊<sup>いっさつ</sup>です。大人<sup>おとな</sup>にこそ読んでほしい『哲学<sup>てつがく</sup>』絵本<sup>えほん</sup>。



## 【ほんとうのことをいってもいいの？】

著：パトリシア・C. マキサック

リビーはお母さん<sup>かあ</sup>にうそ<sup>うそ</sup>をついて友だち<sup>とも</sup>と遊び<sup>あそ</sup>に行こうとしました。うそをついてから、だんだんおなか<sup>く</sup>が苦しくて、涙<sup>なみだ</sup>があふれて…。その日から、リビーは“ほんとうのこと<sup>ほんとうのこと</sup>だけ”を言おうと誓<sup>ちか</sup>います。ところが、正直<sup>しょうじき</sup>になろうとすればするほど、友だち<sup>とも</sup>を傷<sup>きず</sup>つけてしまうことになり…。相手<sup>あいて</sup>を思いやる気持ち<sup>おもいきもち</sup>の大切<sup>たいせつ</sup>さに気付<sup>いっさつ</sup>く一冊<sup>いっさつ</sup>です。



## 【絵本 地獄】

著：白仁 成昭

三途<sup>さんず</sup>の川<sup>かわ</sup>をわたり、閻魔大王<sup>えんまだいおう</sup>の前<sup>まえ</sup>に出て、針地獄<sup>はりじごく</sup>の宣告<sup>せんこく</sup>を受ける五平<sup>ごへい</sup>。ほかにもさまざまな地獄<sup>じごく</sup>を見ていきます。「悪いこと<sup>わる</sup>をしたら地獄<sup>じごく</sup>に落ちる」——それはつまり、「命<sup>いのち</sup>を粗末<sup>そまつ</sup>にするな」というメッセージ。死ぬこと<sup>し</sup>の怖<sup>こわ</sup>さ、命<sup>いのち</sup>の大切<sup>たいせつ</sup>さを伝える絵本<sup>えほん</sup>です。



## 【奇跡の一本松 大津波をのりこえて】

作・絵：なかだ えり

2011年3月11日、日本<sup>ねん</sup>を襲<sup>が</sup>った東日本大震災<sup>にち にほん おそ ひがしにほんだいしんさい</sup>。古くから人々<sup>ふる</sup>を守<sup>まも</sup>り、親<sup>した</sup>しまれてきた岩手県陸前高田市<sup>いわてけんりくぜんたかたし</sup>の七万本の松<sup>ななまんぼん まつ</sup>は、津波<sup>つなみ</sup>にのまれてしまいました。しかし、たった一本<sup>いっぼん</sup>の松<sup>まつ</sup>だけが津波<sup>つなみ</sup>を生きのび、『奇跡<sup>きせき</sup>の一本松<sup>いっぼんまつ</sup>』として今<sup>いま</sup>なお人々<sup>ひとびと</sup>に希望<sup>きぼう</sup>をあたえています。そんな一本松<sup>いっぼんまつ</sup>の生きざま<sup>いきざま</sup>を描<sup>えが</sup>いた一冊<sup>いっさつ</sup>です。



## 【かべのむこうになにがある？】 作：ブリッタ・テッケントラップ

大きな赤い壁<sup>あか</sup>がありました。いつからなのか、どうしてなのか、だれも知りません。「ずっと あったのさ」「わたしたち<sup>まも</sup>を守<sup>まも</sup>ってくれてるのよ」「おずかしいこと<sup>かんが</sup>考えるのは、やめろよ」とみんなは言うのですが、ねずみ<sup>ねずみ</sup>はかべのむこうの世界<sup>せかい</sup>が知りたくて…。読むと、知らない世界<sup>せかい</sup>へと飛び込<sup>と</sup>む勇気<sup>ゆうき</sup>がもらえるかもしれません。

